

世界唯一の左右両回りダートコースで、 サラブレッドたちの大激戦が繰り広げられます。

TCKはダート(砂)コースです。1990年、開場以来40年ぶりに下層路盤をそれまでの赤土から碎石に改良し、その上に榛名ダストを15cm、さらにその上にクッション砂を敷くことで競走馬の脚部への衝撃を緩和していました。そして2023年には、クッション砂をオーストラリアアルバニー産の珪砂へ入れ替えました。新しい砂は白く見えるのが特徴で、従来の砂よりも硬度が高くシルト化(砂の粒子が細くなり粘土質になること)しにくいいため、排水性を確保でき、馬場状態の悪化防止や騎乗者の視認性確保につながります。さらに入れ替えにあわせ砂厚を10cm(従来は8cm)に変更しクッション性を高めることで、人馬の安全を確保しています。また馬場斜度を設け、水捌けを改善するとともに、コーナー内側の斜度を3.0%にすることで、コーナリングの改善を図っています。



2021年には新たなチャレンジの一つとして左回りレースを導入。大井競馬場は現在において世界の競馬場で唯一の左右両回りコースとなっています。また、レースのスタートに使用されるスターティングゲートは16頭まで対応しており、地方競馬最大規模を誇ります。



右回りスタート



右回りゴール



左回りスタート



左回りゴール